



SANUMA

VOL46

# 週報

佐沼ロータリークラブ



例会場 サンシャインプラザ21 ☎22-8988  
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
事務所 サンシャインプラザ21 ☎22-8988

(2009~2010年度)

会長 二階堂 學  
幹事 菅 原文之  
会報 氏 家 良 典 秀 義 弥  
小 竹 秀 敏 富士原 裕 子

## 第2232回例会 2009. 11. 19 No.18

### 本日の出席率

- ・本日の出席率 76%
- ・前回確定出席率 66%

### ニコニコボックス

- ・二階堂學会長 この度、退会されました秀義弥会員、32年間ロータリー会員として奉仕されましたこと、厚くお礼を申し上げます。退会後もお元気で過ごして下さいませよう、お祈りします。佐々木一寛会員のスピーチに期待して。
- ・伊藤俊郎会員 大変ご無沙汰いたしました。10月22日夫婦同伴で東京の最高裁判所長官より、表彰状を頂いて参りました(全国で3名でした)。
- ・遠藤光則会員 妻の誕生日にきれいな花を頂きまして、ありがとうございました。
- ・佐々木功一会員 妻の誕生日にきれいな花をお送りいただき、ありがとうございました。
- ・佐々木一寛会員 本日、私のスピーチです。拙い内容ですけれど、最後まで聞いて下さい。
- ・二階堂敏雄会員 佐々木一寛支店長の明解な経済分析にご期待致します。
- ・菅原文之幹事以下 佐々木一寛会員のスピーチに期待して。  
布施孝之会員 村上武彦会員 飯塚仁哉会員  
佐々木崇会員 阿部泰彦会員 氏家良典会員  
山田直志会員 佐竹孝行会員 阿部賢悟会員  
佐藤静市会員 猪股育夫会員 佐々木源悦会員  
熊谷敏明会員 小泉洋会員 高橋利光会員  
富士原裕子会員 武川毅会員  
以上、ありがとうございました。

### 会長要件 二階堂學会長

10月31日付で、秀義弥会員が退会いたしました。32年間という長い間ロータリー会員として色々と奉仕され、功績が多い方でした。非常に残念ですが、先ずは、厚くお礼を申し上げます。

先週、市民会議のお話をし、ご参集をしていただくよう依頼を致しました。お陰様で「人と野生動植物の共生を考えるつどい」は無事、南方庁舎の大会議室で盛大に終了出来ましたこと、皆様のご参加もあり、ありがとうございました。

白鳥やガン類は、3,000~4,000kmもの遠い、シベリア、カムチャッカから飛んで来る訳です。最近の統計によりますと、新潟が一番多く、その次が伊豆沼となっております。次いで山形となっておりますが、遅く来て早く帰る傾向にあるということです。こういった渡り鳥は、高病原性鳥インフルエンザを持っており、2008年4月21日に十和田湖で死亡したオオハクチョウから、A型鳥インフルエンザH5N1が検出されました。これは、人間に直接感染しないのですが、鳥から人間にうつるといった誤解をまねいているところがあります。実は、豚を介して人間にうつってくるということでもあります。従って、家禽、養鶏場では接触をさけるようにした方が良いでしょう。3,000~4,000kmもの遠くから、ここが良くて飛んで来る訳ですので歓迎したくなると思います。しかし、接触を控える意見から、昨年は餌付けの自粛を呼びかけられました。そういったところから、近くにおいてお互いに共生をやりようということです。

・ガバナーより 2010-2011年度ガバナーに楢山直樹君(盛岡西北RC)、2011-2012年度ガバナーに菅原一博君(仙台RC)が決定したとの通知がありましたので、ご報告をいたします。

### 幹事報告 菅原文之幹事

- ・RIより
  1. 2010-2011年度役員名簿報告書式が届く。
  2. ロータリーワールドが届く。
- ・台北西門RCより、会報が届く。

### 今週のスピーチ (担当: 佐々木一寛会員)

本日のスピーチに際しまして「地域力連携拠点」、「中小企業支援・施策の概要」というレジメを配布させていただきました。これに沿って進めて参りたいと思います。

「地域力連携拠点」の方は、経済産業省の発信であります。経済産業省の発信で疲弊している地域を活性化しよう、強くしよう、お手伝いをしようという目的で、平成20年4月から、こういった事業を推進して下さいということで、経済産業省の委託事業になっており3年間、即ち、平成23年の3月までやりましょうと、皆様に発信しております。表紙に、創業事業再生チャレンジ、経営力向上、事業承継等の相談は無料ですと表示されています。会員の皆様方は大いに地域の皆様と共に協力を得て、あるいは、支援をいただいで事業をやっていたりする訳であります。その地域を応援しようという経済産業省の事業に対して、私共も積極的に取り組みたいということをお願いしましたら、全国327箇所の地域力連携拠点に選ばれました。

宮城県では、宮城県商工連合会、仙台商工会議所、気仙沼商工会議所、宮城県中小企業団体中央会、仙北信用組合となっております。今までのこういった国との連携事業に於いては、民間の金融機関を入れるという発想はありませんでしたが、なかなか商工会連合会の在り方が全国にいきわたらないのではないか、あるいは、地元の金融機関を入れた方がいいのではないかということがありまして、今回はじめて金融機関もこういった国の事業に参入出来るようになり、私共も去年からこの活動をしております。では、どういうことをやっているかと言いますと、地域力連携拠点にご相談いただければ、色々なことが実現できます。

1. まずは相談してください。  
これは、相談ですので、私共と面識がなくてもどんな方でも相談に来て下さい。
2. 自社の強み、弱みを知りましょう。  
自分の会社の良いところ、そうでないところを診断して、解決策、支援策、そういった道筋を分かりやすく伝えます。
3. 課題を克服し、ステップアップしましょう。  
課題に応じて、応援コーディネーターが、専門家や支援策につなげていきます。  
私共の応援コーディネーターは、私の前に佐沼ロータリークラブに入会しておりました小野寺ですので、

本日のスピーチも小野寺の方をお願いしましたが日程の調整がつかず、私がやっております。応援コーディネーターが、色々な相談内容によってコンサルタント、それに詳しい方々の企業、研究所、大学につながっていきます。この様に一人ではなく、私共も一緒になってお手伝いをさせていただくという事業であります。先程もお話をしましたように、地域の活性化が目的であります。具体的な内容につきましては、レジメにありますように、

### I 中小企業再生支援協議会

中小企業の再生に向けた取組みを支援するために、各都道府県に設置されている公正中立な公的機関。メンバーに、公認会計士、税理士、弁護士、中小企業診断士がおり、中小企業の再生に係る相談などにきめ細かく対応します。

現在、私共の仙北信用組合の中では、3社、この協議会をお願いして、非常に良い状態で進んでおります。

### II 農商工連携

農林漁業者と中小企業者が共同で行う新たな商品やサービスの開発等に係る計画について国が認定を行い、この計画に基づく事業に対し、補助金、政府系金融機関による融資、信用保証の支援を行うことにより、農林漁業と商工業等の産業間連携を強化して地域経済を活性化する取組みです。

### III 新連携

色々な事業を展開するに当たって、2者以上の中小企業者が有機的に連携をして、新事業を構築していく、新しいことを取り入れるという相談についてこのような連携もあります。

### IV 新現役チャレンジ支援

専門的な知識を持っていて、会社を退職した人がメンバーに入っていて、「このような人材が我が社にほしい」という要請があれば、その道に詳しい方を、おつなぎ申し上げるというふうな状態です。新現役に登録している人は、10,000人で、その内、宮城県は100人です。企業とすれば新しい分野に物事を向けたい、あるいは、人材が不足している、現在の財務内容を改善したいというイメージを持って悩んでいる方は、是非相談をしていただきたいということです。この1年間に登米、栗原、気仙沼管内で203件の派遣をしております。

この事業は、来年度まで続きます。そういったことで相談をしたい、新しい事業がしたい、人材がほしいという相談がありましたら、商工会の方へ、又は、仙北信用組合の方において下さればと思います。

そんなことをして地域の皆様の問題を少しでも解決するお手伝いをして、みんなでこの地域を盛り上げ、この経済的に大変な時期をのりきりましょうと言う事業をやっていますというお知らせでした。